

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2023/2/7 ~2023/4/3)

### 1. 勉学の状況

2月7日にシドニーに到着し、約2週間後の2月20日から授業が始まりました。最大で4つの授業をそれぞれのセメスターで履修することができますが、私は「The living Environment」「Organisms to Ecosystem」「Introductory Statistics」の3つを履修しています。授業は週2時間のレクチャーの他に、実験やフィールドワーク、Practical classがそれぞれ週に2時間ずつあり、各教科1週間で計4時間の授業があります。基本的にレクチャーはオンデマンドのため、まずは授業資料に目を通し、分からない単語を調べて、授業で扱う内容の予備知識をインプットしてからレクチャー動画を見て理解を深めています。実験やフィールドワークなどのPractical classは対面で行われます。その授業の内容がレポート課題に直結していることが多いです。しかし、教授の説明が理解できなかつたり、しっかり聞いていても英語を理解できないこともあるため、対面のクラスではスマホで授業を録音しながら参加しています。授業後に、理解できなかったことや、聞き逃したことがあった場合はそれを聞き直して授業の補完をするようにしています。

また、授業中に教授が学生に質問を投げかけることが多いですが、質問の意味が理解できても科学的な語彙力が足りないために、積極的に手を挙げて質問に答えることが難しいです。授業の長さに加えて、内容を理解するために予習・復習に時間をかけなければならないため、日本にいた時よりも圧倒的に勉強する時間が増えました。マッコーリー大学の図書館は夜の12時まで開いているため、授業の前後は図書館に行き集中できる環境で課題や予習・復習を行なっています。また、自分の英語のスピーキングにまだ満足できないために、週1で行われているEnglish Discussionと2週間に1回行われているEnglish Caféに通って英語力の向上に努めています。

4月7日から2週間ほどイースターのため授業が休みになるので、リフレッシュしながら後半の授業とテストに備えたいと思います。

### 2. 生活の状況

シドニーに来てから約2ヶ月が経ちましたが、生活にも慣れてきました。

#### 【寮生活】

私は大学から徒歩10分の寮で、他の学生と5人でシェアハウスをしています。到着初日から、想定外のことが多く、寮に到着すると自分が住む予定の部屋に案内されましたが、清掃がされておらず急遽別の部屋に移るも、そこも清掃されておらず、3度目の正直でようやく部屋に案内されたが、自分の希望とは異なる部屋だったりといった感じです。ルームメイトはインドの留学生が3人、アルゼンチンからの留学生が1人の構成でした。最近

になって本来希望していた部屋に交換してもらえたので、数日前からルームメイトが変わりました。現在はインド、中国、サウジアラビア、ドイツの人たちと生活しています。

私が生活している場所はシドニーでも比較的シティーから離れた場所なので自然が多く、部屋に大きな蜘蛛がどこからともなく入ってきたり、大きなトカゲが入ってきたりと日本とは大きく違っているため毎日新しい発見があっておもしろいです。

シドニーや大学内ではさまざまな国のレストランがありますが、物価が高く、日本の値段の2倍以上することがあるため、基本は自炊を頑張っています。近くにアジアンスーパーもあるため、食材にはあまり困りませんが、今まで実家で生活していたため一人暮らし奮闘中です。

**【友人関係】** シドニーに来て友達は数人できましたが、アジア出身の友達が多いです。英語がすごく流暢な留学生たちと話していると、会話のスピードが速いため、なかなか会話に参加できずに悔しい思いをしています。大学では交換留学生のサークルや日本サークルなどに入っており、ご飯を食べに行ったり、サーフィンなどのイベントには積極的に参加するようにして交流の輪を広げています。

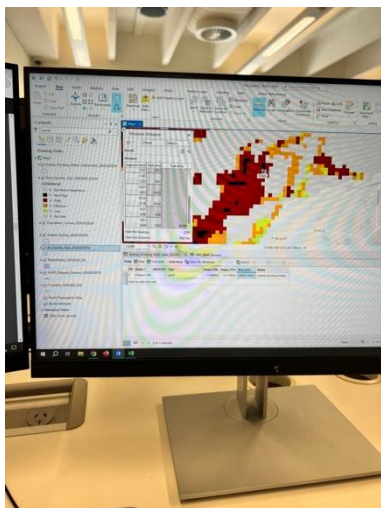
正直、シドニーでの留學生活は、思い描いていた理想の留學生活とは少し異なりますが、残りの8ヶ月、勉強も遊びも楽しみながら充実したものになりたいです！！



## 海外派遣留学プログラム報告書

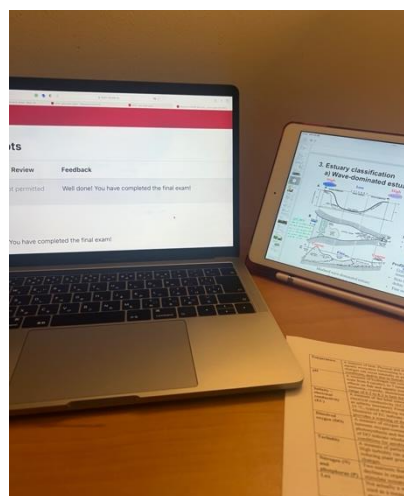
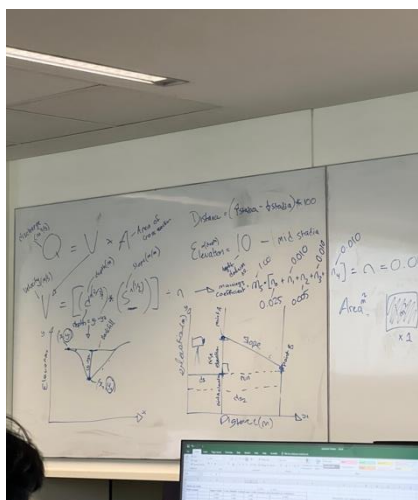
(報告期間：2023/4/4～2023/7/18)

### 1. 勉学の状況



5月末にほとんどの授業が終わり、6月は final exam がありました。私は3つの授業を履修していますが、テストは2教科のみで、どちらも2時間程度のテストでした。1つ目は「Organisms to Ecosystem」のテストで、このテストは対面の筆記試験で持ち込み不可のテストでした。久々のテストだったので個人的にはこのテストが一番大変でした。テストは、選択問題と文章で答える問題とエッセイ形式の問題がありました。過去問と似たような問題もあれば、最後のエッセイ形式の問題はテストの前にあらかじめ教授が内容を伝えてくれるので、しっかり準備をすればあまり大変ではないと思います。

2つ目は「The living Environment」のテストで、このテストはオンライン形式で open book のテストでしたが、何を見てもいいので逆に難易度は高めでした。マッコーリー大学では、数年前までのテストの過去問を図書館のサイトから入手することができるので、過去問を使ってテスト勉強をしていました。しかし問題のみで、答えは与えられていないので、私は友達と一緒に問題を解いたりして答え合わせをしていました。



## 2. 生活の状況

### 【寮生活】

ハウスメイトたちともせっかく仲良くなれましたが、最初のセメスターが終了後にみんな出ていってしまったので、次のセメスターが始まるまでは1人で一軒家に広々と住んでいます。寮生活では、水道管が壊れて洗面台から水が漏れたり、キッチンの調味料が全てクリーニングチームに捨てられてしまったり、色々ハプニングもあり最初はストレスでしたが、数ヶ月たち免疫もついてきて今は楽しく過ごしています。



【友人関係】 最初の頃は、なかなか友達ができずに苦労しましたが、5ヶ月経っていろんな友達ができました。しかし友達はやはりアジアの人が多い気がします。仲良くなった子達と一緒に Road trip をして星を見にいたり、誕生日パーティーをしたり、ホエールウォッチングをしに行ったり、オーストラリアの自然を大満喫しています。しかし交換留学生の多くは半年で帰国してしまうのでとても残念です。

